

エイム電子株式会社

エコアクション21環境活動レポート

2021年10月 ~ 2022年9月



発行日2022年10月28日

～目次～

■組織の概要	1
■対象範囲、レポートの対象期間及び発行日	1
■環境方針	2
■環境管理実施体制	3
■環境目標	4
■環境活動計画	5
■環境目標の実績	6
■取組結果とその評価、次年度の取組内容	7
■環境関連法規制の遵守状況	8
■代表者による全体評価と見直し	8

AIM
AIM ELECTRONICS

1.組織の概要

1)事業所名及び代表者名

エイム電子株式会社 代表取締役 中山栄志

2)所在地

本社 : 〒252-0327 神奈川県相模原市南区磯部1353
R&Dセンター: 〒252-0327 神奈川県相模原市南区磯部1354-4
物流センター: 〒252-0336 神奈川県相模原市南区当麻1107-20
新社屋 : 〒252-0327 神奈川県相模原市南区磯部1335-1

3)環境管理者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者: 経理部長 松島広晃
担当者 : EA21事務局 西田
連絡先 : 電話 046-253-9881
FAX 046-252-7572

4)事業の活動内容

認証・登録対象活動
ネットワーク用、AV用ケーブル及び周辺機器の製造・輸入販売

5)事業の規模

活動規模	単位	R1年度	R2年度	R3年度
売上	百万円	1,181	1,210	1,330
従業員	人	73	72	74
床面積	m ²	830	830	830

2.対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

1)認証・登録範囲

■段階的認証
本社・R&Dセンター、物流センター
※新社屋(2023年拡大予定)

2)レポートの対象期間及び発行日

期間: 令和3年10月1日～令和4年9月30日

発行日: 令和4年10月28日

3.エイム電子環境方針

[理念]

当社は経営理念に「地球環境と社会に貢献する」を掲げ、地球環境問題への取り組みが企業経営における重要課題の一つであると認識し、地球環境に配慮した事業活動に積極的に取り組んで参ります。

[方針]

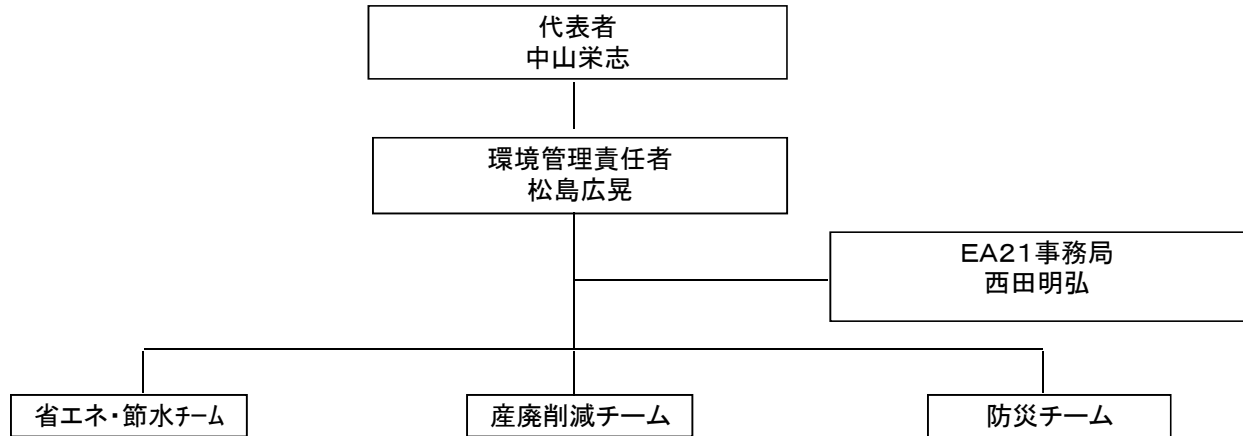
- 1) 事業活動の全域で省エネルギー、廃棄物削減、節水の推進に努めます。
- 2) 環境保全に配慮した製品の製造及び資材の購入に努めます。
- 3) 環境マネジメントシステムの継続的な維持向上に努めます。
- 4) 当社の活動に係わる環境関連法規、その他の要求事項を遵守します。
- 5) オフィス用品のグリーン購入を推進します。
- 6) 環境方針を全従業員へ周知させるとともに環境教育及び啓発に努めます。

平成28年10月1日
エイム電子株式会社
代表取締役
中山栄志

4. 環境管理実施体制

作成 2018/10/19

承認	作成
松島	西田



	責任および権限
代表取締役社長	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境方針の制定 3. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 4. 環境経営システムの取り組み状況の評価、見直し、必要な指示を行う。
環境管理責任者	1. 環境経営システムの構築、維持。 2. 社長への環境経営システムの実施状況報告 3. 環境経営システムの実施、維持、継続的改善を行う 4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施 5. 環境関連文書及び記録の作成・整理
事務局	1. 環境関連データの集計・管理、社内への情報提供 2. 環境管理責任者を補佐しEA21の取組みを推進する 3. 対外連絡窓口
チームメンバー	1. 環境目標達成のために1年間活動を行い、成果を報告する。 2. 環境上の緊急事態への準備及び対応
従業員	1. 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 2. 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

(回覧ルート)

社長→環境管理責任者

改版履歴

版数	改定理由	改定月日	承認	作成者
1.1	フロア別責任者制からチーム制に移行	2011.10.1	社長	松島
1.2	事務局の責任および権限を追加	2012.11.1	社長	松島
1.3	チーム構成を変更	2015.10.1	社長	松島
1.4	代表者を変更、チーム構成を変更	2016.10.1	社長	松島
1.5	EA21事務局担当者を変更	2017.10.1	社長	松島

5. 環境経営目標

項目		R2年度	R3年度		R4年度	R5年度
		実績 (基準値)	目標	実績値	目標	目標
二酸化炭素排出量削減(kg-CO2)		40,458	40,054	37,799	6,790	6,722
前年比削減率(%)		-5.9%	-1.0%	-6.8%	-82.0%	-1.0%
二酸化炭素排出量削減	本社電力(kwh)	42,107	41,896	44,609	44,163	43,942
	前年比削減率(%)	-1.7%	-0.5%	5.9%	-1.0%	-0.5%
	物流C電力(kwh)	35,413	35,236	41,705	41,288	41,082
	前年比削減率(%)	-2.6%	-0.5%	17.8%	-1.0%	-0.5%
	R&Dセンター電力(kwh)	11,221	11,109	11,505	11,390	11,276
	前年比削減率(%)	-	-1.0%	2.5%	-1.0%	-1.0%
化石燃料	ガソリン燃費(km/ℓ)	15.24	15.54	15.99	16.31	17.13
	前年比向上率(%)	-1.4%	2.0%	4.9%	2.0%	5.0%
排水量削減(m ³ /人)		5.42	5.40	5.03	5.01	5.00
前年比削減率(%)		11.0%	-0.4%	-7.2%	-0.3%	-0.3%
コピー紙購入量削減(kg)		712	669	769	723	716
前年比削減率(%)		5.9%	-6.0%	8.0%	-6.0%	-1.0%
一般廃棄物排出量削減(kg)		4,729	4,682	4,573	4,527	4,482
前年比削減率(%)		-1.3%	-1.0%	-3.3%	-1.0%	-1.0%
産業廃棄物リサイクル率/ (H28～)産業廃棄物の削減 産業廃棄物の適正管理		99%	適性管理	99%	適性管理	適性管理
環境に配慮した製品作り 及び資材の購入		RoHS2比率 57%	RoHS2比率 60%	RoHS2比率 64%	RoHS2比率 67%	RoHS2比率 70%
防災対策		実施	防災・災害後 対策強化	実施	防災・災害後 対策強化	防災・災害後 対策強化

※ 化学物質の使用無し。

※ CO2排出係数は「東京電力=0.441 東京ガス=0.277(kg-CO2/kWh)」を使用。

※ リサイクル率は重量計測で排出する産業廃棄物で計算します。(99%以上が該当)

※ 産廃の適性管理＝産業廃棄物管理票交付、管理及び行政への報告、
産業廃棄物委託契約書の締結、産業廃棄物排出量(リサイクル量)の把握

6.環境活動計画

- (1) **二酸化炭素排出量削減**
 - 1 **本社／R&Dセンター／物流センター電力削減**
 - ・クールビズの励行、卓上ファンの配布
 - ・ウォームビズの励行、足温器の配布
 - ・エアコンの定期清掃による効率アップ
 - ・待機電力カットの強化
 - ・省エネ啓蒙コラムをメール配信
 - ・エアコン温度設定等の節電メッセージの設置
 - ・エアコン消し忘れ防止タイマーの設定
 - 2 **ガソリン燃費削減**
 - ・運転時の排気ガス削減方法を社内に告知
- (2) **排水量削減**
 - ・節水ポスターの見直し
 - ・社内へ節水啓蒙のコラムをメール配信
- (3) **コピー紙購入量削減**
 - ・裏紙利用の促進、ルール再確認
 - ・社内書類のペーパーレス化推進
- (4) **一般廃棄物排出量削減**
 - ・一般ゴミの分別の徹底
 - ・廃棄品の定期処理
- (5) **産業廃棄物の適正管理**
 - ・産業廃棄物の適正管理
(産業廃棄物管理票交付、管理及び行政への報告
産業廃棄物委託契約書の締結、産業廃棄物排出量(リサイクル量)の把握)
- (6) **環境に配慮した製品作り及び資材の購入**
 - ・顧客の要望を中心に、RoHS2指令への対応を推進
 - ・RoHS2非対応、不明在庫品については対応品への入替を順次進める
- (7) **防災対策**
 - ・防災グッズの点検、充実化
 - ・非常食、飲料水の点検、充実化
 - ・避難訓練の実施

以上

7.環境目標の実績

今年度の環境保全活動が終了し、社長と環境管理責任者が環境への取組結果の評価を行った。評価結果は次の通りである。

No.	推進項目	単位	責任者	年度目標	年度実績	評価
1	二酸化炭素排出量削減	kgCO ₂	松島	40,054	37,799	○
1-①	二酸化炭素排出量削減 本社電力	kwh	東	41,896	44,609	×
1-②	二酸化炭素排出量削減 倉庫電力	kwh	東	35,236	41,705	×
1-③	二酸化炭素排出量削減 R&Dセンター電力	kwh	東	11,109	11,505	△
1-④	二酸化炭素排出量削減 ガソリン燃費	km/ℓ	東	15.54	15.99	○
2	排水量削減	m ³ /人	東	5.40	5.03	○
3	コピー紙購入量削減	kg	原	669	769	×
4	一般廃棄物排出量削減	kg	原	4,682	4,573	○
5	産業廃棄物リサイクル率 産業廃棄物の削減/適正管理		松島	適正管理	リサイクル99%	○
6	環境に配慮した製品作り 及び資材の購入		松島	RoHS2比率 60%	RoHS2比率 64%	○
7	防災対策		元木	防災・災害後 対策強化	実施	○

8. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

【電力使用量】

前年から継続して、照明の点けっぱなし防止や、待機電力の削減、省エネへの啓蒙等を推進したが、極寒／猛暑の影響で、エアコン使用に伴う電力が大幅に増えてしまった。
(200V電力だけで見ると、昨年比19%増)

また、昨年途中から導入した電動フォークリフトの充電も影響した。

- 来期は新社屋の稼働、環境SDGsチームの新設等、環境／体制にも変化がある為
啓蒙活動の頻度を増やす事で(月1回は啓蒙活動実施)、従業員の更なる意識向上を図る

【ガソリン燃費】

走行距離、燃費ともに昨年と大きな変化は無かった(燃費は0.7km/l改善)

ガソリン車とハイブリッド車の使用割合にも大きな変化は無かったが

一回の走行距離が昨年より長いケースが多かった分、燃費が良くなった。

- ハイブリッド車の使用年数が間もなく10年を迎えるので
燃費／実用性と、新たに蓄電設備としての可能性も含めて、検討予定

【排水量】

継続して節水ポスター掲示や省エネコラムによる啓蒙を実施し、排水量は昨年比5%減となった。

- 来期以降も、感染予防の手洗い・うがいの徹底は継続が必要だが、水の出しっ放しを
防止する等、基本的な対策を見直していく。

【コピー紙購入量】

物流センターの購入タイミングが期首と期末に丁度重なったこともあり、昨年比8%増となった。
業務オンライン化を進めたが、新たな啓蒙活動等は実施出来ず、削減への意識向上を
図れなかった事も反省点。

- 来期も、更なる業務オンライン化を進めると共に、余分な印刷をしない様な
啓蒙活動(裏紙活用等)とあわせて実施する事で、5,000枚以上の削減を目指す。
あわせて、目標管理方法も見直す予定(売上に応じて紙購入量も変動する為)

【一般廃棄物排出量】

一般廃棄物量は昨年比3.3%削減。

分別の種類掲示等により、リサイクル率が向上、廃棄物量が削減された。

- 来期は、各従業員が業務外で排出するゴミの削減に向けた啓蒙活動
実施し、更なる廃棄物量削減を図る(例えば、ペットボトル⇒水筒持参 等)

【産業廃棄物リサイクル率】

当社の産業廃棄物は再生可能品は総て分別し、リサイクルしている。

- 今後も分別の徹底を続けます。

【環境に配慮した製品作り】

2019年7月のRoHS2指令の施行に伴い、対応製品への切替を順次実施。

- 在庫品の内、64%がRoHS2対応へ切替済。
来期以降も継続して、RoHS2対応製品への切替を推進していく。

【防災対策】

計画通りに防災対策を進めることが出来た。防災グッズの棚卸、新規購入等も実施。

- 有事に備え、更に防災対策の充実を図りたい。

○ 代表者の前期指摘事項に対する取組について
電力事業者見直しによる、Co2排出量削減の検討
⇒ 2022年9月より、再エネ電気契約へ切替実施
一般廃棄物の削減に向けた施策
⇒ 分別の徹底による、リサイクル率向上

9.環境関連法規制の遵守状況

内 容	過去3年から現在までの結果
遵守状況の確認 及び評価結果 法律違反の有無	なし
訴訟の有無	なし

10.代表者による評価と見直し

環境目標の達成状況について

長く省エネ活動を続けてきて、今以上の改善余地が少なくなっている項目もある中、目標達成に向けて継続努力が出来ている。
また、環境活動の目標達成状況については、一人一人が会社の活動を理解する為にも従業員に向けて報告する場を増やしてほしい。

来期への取り組みについて

新たに「環境SDGsチーム」を発足する事で、SDGsについて従業員一人一人が理解を深め、それぞれが自分が思う貢献の方法を探し、実施していける様な下地を作っていきたい。

また、エコアクションを通じた会社の環境活動においても果たして本当に環境に効果のある取組なのかどうか調査／検証できる様にしてほしい。

2022年10月28日
エイム電子株式会社
代表取締役 中山栄志